



西幼だより

令和8年5月28日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね!



(西幼稚園 HP)

心地よいそよ風がそよぐように

園長 渡邊 舞

5月のある日、風によって、太鼓の音と威勢のよい声が聴こえてきました。子どもたちは「向こうから聴こえてくるよ、何の音だろう」とベランダに立ち、視線の先には小学校。聴いているだけでなんだかワクワクする音や声でした。今年度、小学校との連携の一環で、子どもたちが小学校へ出向く機会をいただくことになっており、ちょうど、小学校から、運動会の練習日の予定を聴いていた私たち。早速、子どもたちの「何の音だろう」を確かめるために、そして、未知の世界で新たなワクワクが広がることを願って、いざ、小学校へ。



(玉入れ) がんばれ~!!

小学校への探検の1回目は、1年生、2年生のダンス玉入れの練習の日でした。子どもたちもよく知る曲のダンスの後、玉入れがスタート。1, 2年生までは距離がありましたが、気付くと「がんばれ」と応援し、玉入れやダンスの動きを始める子がいました。遠くにいる小学生の中に、3月に修了したお友達を見付ける子もいて、さらに応援に力が入っていたようでした。応援の後

小学校の森の小川に、ある生き物が住んでいる情報を得ていた私たちは、中庭の森に行くことを提案しました。そこは、大きな木に囲まれ、木漏れ日が差し込む小川が流れる素敵な森。幼稚園にはない世界が広がっていました。「わあ」と思わず感動を声に出すお友達がいました。そこで子どもたちは、ザリガニに出会い、ワクワクしていました。この日はザリガニをとりたい気持ちを膨らませ、園に戻りました。2回目に訪れた際は、運動会の応援練習の日。ここで、「ドンドンドン」という太鼓の音の正体がわかり、応援の迫りに圧倒されていた子どもたち。応援練習を見た後、この日も子どもたちのワクワクが次の段階に進むことを願って中庭の森へ。子どもたちはすぐに水辺に向かい、長い木の枝を探し、ザリガニを釣ろうと試みました。子どもたちのザリガニをとりたい気持ちがますます膨らみました。しかし、思うようにいかない現実。それでも、気持ちは前のめりです。どうやったらとれるだろうか、どんな道具がいるかと年長組の子どもたちは考え、後日、ザリガニをとりに行くことを目的にし、小学校に行くことになりました。家からは網や餌となるものを準備してきた子どもたち。ついにその時出会った小学生からアドバイスをもらい、無事、ザリガニを幼稚園に連れてくることのできたのでした。幼稚園で待っていた年少、年中組のお友達もとてもうれしそうでした。



どうやったらとれるかな

初めて小学校に行ったお友達は、最初、緊張していたようでした。しかし、迎え入れてくれた小学校(教職員、小学生)の雰囲気は安心し、ワクワクの気持ちが膨らみ「おもしろい!」「やってみたい!」と変化していきました。太鼓の音を運んだ風は、幼稚園と小学校の間に安心感をもたらす心地のよいそよ風でした。幼稚園、小学校の子どもたちの真ん中にいつも心地よい風が優しくそよぎ、安心感と子どもたちのワクワクがつながる、幼小連携を進めていきます。



小学生が見守る中で...

